

PTA 2022
in YAMAGATA

2022

分科会 8.26 金 全体会 8.27 土

第2次案内



山形大会ホームページ
<https://yamagata-2022pta.com>

第70回 日本PTA全国研究大会
第54回 日本PTA東北ブロック研究大会

山形大会

『人とひとのつながりを体感しよう!』

～あがらっしゃい精神の山形から～



ごあいさつ

2020年初春から全世界に広がった新型コロナウイルス感染症のため、子供たちの学びの環境も、全国のPTA活動も、従来とは違う形となってしまいました。しかし、このような事態であるからこそ、日本PTAは日本最大の社会教育関係団体として歩みを止めないよう活動を続けております。

この山形大会は、スローガンにある「人とひとのつながりを体感しよう!～あがらっしゃい精神の山形から～」の想いを軸に開催されます。コミュニケーションの基本である“会”“う”ことが極端に制限され、本来大切な“つながり”というものを感ずることができなくなっているWithコロナの時代であるからこそ、参加者が“つながり”を体感できるような大会にしたいとの強い思いが、山形の方言でありおもてなしの言葉である「あがらっしゃい」に込められています。

子供たちの学びの時間は失われたら戻すことはなく、家庭・学校・地域の懸け橋となるPTAには、今強い期待が寄せられています。

山形の地に多くの皆様が集い、学び合うことで、子供たちのより良い教育環境の実現と、更なるPTA活動の発展に寄与する大会となるよう準備してまいります。

ご来場を心よりお待ち申し上げております。

公益社団法人 日本PTA全国協議会 会長 清水 敬介

主催 公益社団法人日本PTA全国協議会 東北ブロックPTA協議会 山形県PTA連合会

後援 文部科学省 全国都道府県教育委員会連合会 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国公立学校教頭会 山形県 山形県教育委員会
県内35市町村 県内35市町村教育委員会 山形県連合小学校長会 山形県中学校長会 山形県小中学校教頭会
一般社団法人全国高等学校PTA連合会 山形県高等学校PTA連合会 全国国立幼稚園・こども園PTA連絡協議会
公益社団法人山形県私立幼稚園・認定こども園協会 全国国立大学附属学校PTA連合会
公益社団法人日本教育会BP（いじめ防止支援）プロジェクト構成大学（上越教育大学・鳴門教育大学・宮城教育大学・福岡教育大学）東北芸術工科大学
山形新聞・山形放送 NHK山形放送局 株式会社山形テレビ 株式会社テレビユー山形 株式会社さくらんぼテレビジョン 株式会社ダイバーシティメディア
株式会社エフエム山形 山形コミュニティ放送株式会社

「Withコロナ」に生きる。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより世界は一変し、未知のウイルスが存在することを前提とした社会に共存することとなり、誰もが好むと好まざるにかかわらず新しい生活様式への変容を余儀なくされ、私たち大人も適応していくことが困難な時代となりました。

私たちは、人とひとの「つながり」の中で生きています。その「つながり」とは、先祖代々からの「いのち」のバトンをつなぎ、「ふるさと」を愛し未来に心をつなぐこと。PTAは、家庭と学校そして地域をつなぐ大きな役割を担っています。子供たちの健やかな成長には、家庭や学校はもとより地域とかわり、社会性をまなぶことが必要です。多くの人とひとの「つながり」があって生きる力を「まなぶ」のです。

「Withコロナ」の時代、自由に集えないなどその「つながり」が希薄になり、気付くことすら難しい状況となっています。当たり前と感じていた「つながり」は、当たり前ではなかったことに気づかされました。PTAの目的は、より良い社会を目指し活動をしています。そのために子供たちの健全育成が必要であり、さらに家庭・学校・地域のつながりをより強いものにしなければなりません。そのつながりは、創られるものではありません。私たちPTAが積極的に創っていくものなのです。

俳聖・松尾芭蕉の「奥の細道」における山形県の出羽三山の旅は、心の旅といわれるように、いにしえの時代から山形県は人とひとの心をつなぐ「あがらっしゃい」の精神が色濃く残るおもてなしの地であります。このおもてなしの地、山形で、そして70回目の節目を迎える本大会で、わが国最大の社会教育関係団体としての自覚と責任を持ち、すべてのPTA会員が人とひとの「つながり」の大切さを体感出来る絶好の機会を共に創りましょう。

大会趣旨

大会スローガン

『人とひとのつながりを体感しよう!』
～ あがらっしゃい精神の山形から～

- メインテーマ
- ・「いのち」のつながりを感じ、次代につなぐPTA活動
 - ・「ふるさと」を愛し、心をつなぐPTA活動
 - ・生きる力を「まなび」、次代につなぐPTA活動
 - ・多様な「つながり」から、子供たちの未来を切りひらくPTA活動

期日・会場

【分科会】 8月26日(金) 山形県内10分科会 (10会場)
【全体会】 8月27日(土) 山形市総合スポーツセンター 酒田市民会館希望ホール

大会日程

■ 8月26日(金)					
分科会 (10会場)					
※第2分科会・第7分科会においては、閉会を30分繰上げとします。					
12:00	13:00	13:20		17:00	
受付	アトラクション	開会	分科会 (10会場)		閉会

■ 8月27日(土)

全体会 (メイン会場：山形市総合スポーツセンター)

(サテライト会場：やまぎん県民ホール、酒田市民会館希望ホール)

(東北受付)	8:30 (受付)	9:00	9:30	10:22	10:36	12:20	12:30
受付		アトラクション	開会	次期開催地挨拶	記念講演	閉会	終了
8:30 東北ブロック大会							

参加予定人数

全国小・中学校PTA会員及び教育関係者 約8,000人

参加費

一人 5,000円

※参加費は分科会、全体会の2日間を通しての金額です。
※大会の一部または全部に参加の場合でも参加費の返金はいたしません。
※参加費に昼食弁当は含まれておりません。

オンデマンド配信について

本大会は、原則、通常の現地参加を基本に計画しております。オンライン参加については、現段階では検討を進めておりません。但し、全国大会事業を広くご理解いただくためにも、ポイントをまとめたダイジェスト版ではありますが大会終了後オンデマンドの配信を計画しております。詳細につきましては、日本PTA全国協議会より6月下旬頃ご案内する予定です。

分科会	領域	領域	基調講演者	会場
第1分科会	家庭教育	迷わない子育てはない！ 子育ての悩みを共有できるPTA活動 ～子育ての悩みを一人で抱え込まないためのPTAの役割～	鈴木 一作氏 鈴木眼科 院長、 さがえ絵本 読み語りの会 代表	村山市民会館 (村山市)
第2分科会	学校教育	地域とつながる学校教育 ～子供たちの未来のために学校とPTAが共にできること～	永田 繁雄氏 東京芸芸大学 大学院特任教授	酒田市民会館 希望ホール (酒田市)
第3分科会	地域連携	郷土に誇りを持ち、 地域社会の担い手となる人材を育てる PTA活動とは ～未来を切り拓く子供たちの心の育成を考える～	渡部 泰山氏 東北芸術工科大学 基盤教育研究センター 特命教授	新庄市民 文化会館 (新庄市)
第4分科会	人権教育	子供たちの人権尊重と、 人権感覚の涵養 ～他者と協働し、豊かな人生を切り拓くために～	久保 順也氏 宮城教育大学 教授	長井市民 文化会館 (長井市)
第5分科会	広報活動	広報活動による家庭・学校・ 地域のつながりを求めて ～特色を生かした新たな広報活動を考える～	佐藤 恒平氏 地域振興 サポート会社 まよひが企画 代表	高畠町文化 ホールまほら (高畠町)
第6分科会	情報教育	デジタル社会における ICTの有効な活用の仕方 ～デジタル化でつながる学校と家庭～	葛西 紀明氏 ジャンプスキー 選手・監督	伝国の杜 置賜文化ホール (米沢市)
第7分科会	社会教育	子供のために自ら学び・動くPTA ～社会教育の担い手として～	生重 幸恵氏 NPO法人 スクール・アドバイザー ネットワーク理事長	鶴岡市文化会館 荘銀タクト鶴岡 (鶴岡市)
第8分科会	環境・安全	悩みに気づき、 相談される関係性をつくる ～子供たちを見守るために必要なものとは～	木村 泰子氏 大阪市立 大空小学校 初代校長	寒河江市 市民文化会館 (寒河江市)
特別 第1分科会	日本PTA 担当	「令和の日本型学校教育」を 支援するPTA活動 ～持続可能な社会の担い手の育成を目指して～	木村 貴志氏 志の教育を創る Vision&Education, Ltd. 代表取締役社長	天童市 市民文化会館 (天童市)
特別 第2分科会	文部科学省 協力	メディア・リテラシー育成における 学校教育と家庭教育の役割 ～子供たちへのメディア・リテラシー教育を考える～	佐藤 和紀氏 信州大学教育学部 准教授	やまぎん 県民ホール (山形市)

第1分科会

家庭教育

研究課題	迷わない子育てはない！子育ての悩みを共有できるPTA活動 ～子育ての悩みを一人で抱え込まないためのPTAの役割～	
現状と課題	新型コロナウイルス感染症の拡大により戸外での活動や保護者の在宅ワーク等が増え、家族団らんの時間が増加したとの声が聞かれます。しかしながら、一方でメディア依存によって親子のコミュニケーションが好ましい形では持たれていないと危惧する声も聞かれます。 親子の関わりが希薄になり、それに伴って問題行動や不登校などの対応に苦慮している親も少なからずいる現状から、保護者同士の仲間づくりと保護者同士が相談しやすい環境づくりが課題ではないかと思われまます。 PTAとして、一人で行う子育ての悩みを抱え込んでいた保護者をサポートし、保護者同士のコミュニティづくりのきっかけになる場を意図的に設定する必要がある、第1分科会では、子育てを支援するためのPTA活動や環境づくりについて考えていきます。	
提言者	●基調講演者 鈴木 一作 氏 鈴木眼科 院長、 さがえ絵本読み語りの会 代表 ●コーディネーター 土屋 常義 氏 山形県公立小学校 元校長、 村山市はやま認定こども園 副園長 兼 子育て支援センター センター長 ●パネリスト 鈴木 一作 氏 鈴木眼科 院長、 さがえ絵本読み語りの会 代表 笹原 英子 氏 公認心理師、 山形県スクールカウンセラー 村山 恵子 氏 NPO法人クリエイティブがしね事務局長 日本PTA全国協議会関係者	
討議の視点	1) 子育てに関するPTAの活動・役割について 2) 子育てに対する保護者同士のつながりについて 3) 保護者をサポートするための環境づくりについて	

第2分科会

学校教育

研究課題	地域とつながる学校教育 ～子供たちの未来のために学校とPTAが共にできること～	
現状と課題	子供は社会・地域の宝であり、未来です。子供たちを家庭・学校・地域が育み、未来の担い手として成長を支えていくことは社会全体の責務であります。 子供たちを取りまく環境は大きく変わりました。スマートフォン等の普及により家族や友達とのSNSによるコミュニケーションが日常化し、学校では児童生徒が1人1台の端末を使い、授業等での活用ができる環境が整いつつあります。一方で、人と人が直接関わる機会について、家庭、学校、地域が改めて考える機会も増えてきました。 このような大きな変化の中で、私たち大人が大切にしていかなければいけないものは何でしょう。第一に子供たちの「心を育む」ことではないでしょうか。家庭・学校・地域が連携し、子供たち一人ひとりがお互いの良さを見つめ、高め合い、自信を持てるよう、「やさしさ」「思いやり」「強さ」…など心の成長を支えていきたいものです。 学校では、新学習指導要領が実施となり、これまで以上に心の育成に力を入れる実践が始まっています。第2分科会では、家庭、地域、そして私たちPTAも学校と共に子供たちの心の育成について取り組んでいきます。	
提言者	●基調講演者 永田 繁雄 氏 東京学芸大学大学院特任教授 ●コーディネーター 梅木 仁 氏 東北公益文科大学特任教授 ●パネリスト 永田 繁雄 氏 東京学芸大学大学院特任教授 渡部 仁 氏 (株)コミュニティ新聞社 編集部長 齋藤 勉 氏 酒田市スポーツ少年団本部長 木村 智則 氏 山形県立こころの医療センター 臨床心理士 関口 真爾 氏 仙台市PTA協議会 前副会長	
討議の視点	1) 地域とつながる学校教育のあり方について 2) 学校教育における子供たちの心の育成と現状について 3) PTA活動の果たす子供たちの心の育成と役割について	

第3分科会

地域連携

研究課題	郷土に誇りを持ち、地域社会の担い手となる人材を育てるPTA活動とは ～未来を切り拓く子供たちの心の育成を考える～	
現状と課題	地方の人口減少が加速し、地域活力の低下が危惧される中、地域社会や産業の活力の維持・向上に向けて、それらの担い手となる人材の育成が求められています。また、地域の良さの理解を深め、郷土への誇りを持ち、様々な人と協働しながら地域社会をつくる人材を育成することがこれからますます大切になっています。 本県は、豊かな自然、地域それぞれの歴史や文化、文化財、産業などの学ぶべき資源に溢れています。それらの教育資源を活用し、地域で活躍する様々な団体や関係機関等、多くの方の協力による郷土ぐるみの「ふるさと教育」を推進することは、携わる方自身の郷土愛も醸成することにつながります。 地域コミュニティの一員として、地域に積極的に参画し続け、地域の未来を切り拓いていく人材、また、地元地域から県へ、県から国へ、国から世界へ目を向けていく中で、郷土を想い、様々な形で地域とつながり続ける人材の育成も大切になってくると考えます。 第3分科会では、地域社会の担い手となる子供たちの心を育成していくためにPTAができることを共に考えていきます。	
提言者	●基調講演者 渡部 泰山 氏 東北芸術工科大学基礎教育研究センター 特命教授 ●コーディネーター 齋藤 彰 氏 最上地区生涯学習推進協議会会長 山形県社会教育委員 ●パネリスト 岸 裕司 氏 (株)バンゲア代表取締役 山崎香菜子 氏 個人事業所 赤倉編集室 室長 佐々木 暁 氏 秋田県PTA連合会元総務担当委員	
討議の視点	1) 子供たちを取り巻く地域社会の現状と課題について 2) 子供たちの学びの場を支える家庭・学校・地域の教育力の充実について 3) ふるさとに愛着と誇りを持ち、地域社会の担い手となる心を育成するためのPTA活動のあり方について	

第4分科会

人権教育

研究課題	子供たちの人権尊重と、人権感覚の涵養 ～他者と協働し、豊かな人生を切り拓くために～	
現状と課題	全国的に小・中学校におけるいじめの認知件数、不登校児童生徒数、児童虐待相談対応件数が増加しています。その背景には、複雑化、多様化する社会情勢の中で、子供を取り巻く環境も大きく変化してきたことがあります。特に、少子化や地域社会の弱体化により、子供たちは多様な他者とかかわる経験が少なくなり、人間関係を構築できるだけの力を身につけられないまま年齢を重ねています。自分や他者の価値を見出したり、尊重する力が弱いとも言えます。また、学校や子供社会における新型コロナウイルス感染症による偏見や差別も喫緊の課題となっています。 そんな子供たちが自他の価値を尊重し、他者と協働しながら豊かな人生を切り拓いていくためには、人権感覚を豊かにすることが必要であります。幼い時から価値ある存在として他者から認められたり、他者の考えを尊重し折り合いをつけながら集団生活を送る経験を重ねたりすることで人権感覚は磨かれると考えます。 第4分科会では、子供の経験不足を補い、人権感覚の涵養に向けて、PTAとして何ができるのか考えていきます。	
提言者	●基調講演者 久保 順也 氏 宮城教育大学教授 ●コーディネーター 渡邊 重信 氏 小国町議会議員 ●パネリスト 久保 順也 氏 宮城教育大学教授 勝見 祐子 氏 山形県人権擁護委員協議会 子ども人権委員会委員長 長岡 克典 氏 長岡法律事務所弁護士 日本PTA全国協議会関係者	
討議の視点	1) 多様化する社会を生き抜く子供たちの現状と今後の育成について 2) 子供たちの人権感覚を豊かにするための取り組みについて 3) 人権感覚を磨くために必要なPTA活動のあり方について	

第5分科会

広報活動

研究課題

広報活動による家庭・学校・地域のつながりを求めて
～特色を生かした新たな広報活動を考える～

現状と課題	提言者
地域の教育力が求められる現代において、学校と地域が今まで以上に連携し、子供たちの将来像を描きながら、より一体となった協働的な活動が必要であると考えます。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、これらの活動に制限が設けられ、交流する機会そのものが減少し、今後の情報共有をどのように行い、どういった内容を広報活動として強化していくのかが大きな課題となっております。 このような中、少子高齢化も加速し、家庭と学校、更には学校と地域のつながりを強くするため、コミュニケーションを図るためには、確実に、最新の情報を家庭・学校・地域の方々へ認識していただくことが必要であると考えます。 第5分科会では、コミュニケーションのベースとなる情報発信のあり方について着目し、アナログとデジタルのそれぞれの特色を生かし、新型コロナウイルス感染症との共存も考慮した新たな広報活動について共に考えていきます。	●基調講演者 佐藤 恒平 氏 地域振興サポート会社 まよひが企画 代表者 ●コーディネーター 高橋まゆみ 氏 南陽市教育委員会 元教育委員長 フリーアナウンサー ●パネリスト 佐藤 恒平 氏 地域振興サポート会社 まよひが企画 代表者 山口 常夫 氏 東北文科大学人間科学部 子ども教育学科教授 本田香奈子 氏 基督教独立学園高校講師 日本PTA全国協議会関係者
討議の視点	
1) 家庭・学校・地域がつながる広報のあり方について 2) アナログとデジタルのそれぞれの特色を生かした情報共有・発信のあり方について 3) コロナ禍による行動制限から生み出すPTA広報活動について	

第6分科会

情報教育

研究課題

デジタル社会におけるICTの有効な活用の仕方
～デジタル化でつながる学校と家庭～

現状と課題	提言者
インターネットやスマートフォンは、安全に正しく使うことができればとても役立つ便利なものですが、事件や犯罪に巻き込まれたり、誹謗中傷やいじめの温床になったりと、危険な事案もたくさんあります。コロナ禍の中、さらにメディア視聴時間が増え、生活リズムが崩れてしまっている子供たちも少なくありません。 これから長い将来にわたって情報社会・デジタル社会をよりよく生きていく子供たちに、デジタル機器、SNSなどのコミュニケーションツールを「賢く活用する知識・理解」「ルールを守って使える健全な心」「安全に利用するための危機管理意識」を育むことがとても大切であると考えます。また、GIGAスクール構想による児童生徒の「一人一台端末」での新しい学びがスタートしています。デジタル化で、「教師と児童生徒のつながり」「児童生徒同士のつながり」「学校と保護者のつながり」を今後さらに発展させていく必要があります。 第6分科会では、子供たちに必要な情報活用能力を育てるために、教育や子育ての現場で大切なこと、必要なこと、実践すべきことなどを学校と家庭とが連携して考えていきます。	●基調講演者 葛西 紀明 氏 ジャンプスキー選手・監督 ●コーディネーター 宮田 剣 氏 山形大学工学部准教授 ●パネリスト 寒河江亜衣子 氏 社会医療法人公徳会佐藤病院公認心理士・ スクールカウンセラー 渡部 敬子 氏 米沢警察署総括少年補導専門官・ 公認心理士 梅津 恒介 氏 私立九里学園高等学校教諭 須貝 洋介 氏 米沢市教育委員会課長補佐兼指導主査 新保 元康 氏 NPO法人ほっかいどう学 推進フォーラム理事長専門員
討議の視点	
1) メディアをセルフコントロールするためのルールづくりについて 2) いじめ・不登校の要因となるネットトラブルの防止について 3) デジタル化でつながる学校と家庭について～GIGAスクールでの家庭学習～	

第7分科会

社会教育

研究課題

子供のために自ら学び・動くPTA
～社会教育の担い手として～

現状と課題	提言者
社会教育とは「家庭教育・学校教育以外の組織的な教育活動」と言われています。 そして社会教育は、自らの意思、意欲で行われるものであり、社会教育関係団体であるPTAも同様に主体的に活動する団体です。しかし、時折、PTA不要論がメディアに取り上げられ、PTAの存在意義が問われることがあります。 PTAは、保護者と教員とが協力して、家庭と学校と社会における児童、青少年の幸福な成長を図ることを目的とした団体であり、会員自らが主体的に学ぶことに意義があると考えています。「個」の集まりであるPTAが、子供たちのために何ができるか、何をするかという同じ目的に向かって自らを「高め」、志を同じくする仲間と「協働」し、絆を深め、次世代に「つないで」いくということをこれまで以上に強く意識してPTA活動を展開していく必要があると考えます。 第7分科会では、PTA活動が社会全体あるいは地域において、何ができるか、どんな役割を持つかを共有し、その実現のためにどのようにPTA活動を実施していくかについて考えていきます。	●基調講演者 生重 幸恵 氏 NPO法人 スクール・アドバイス・ ネットワーク理事長 ●コーディネーター 中井 義時 氏 山形大学大学院教育実践研究科教授 ●パネリスト 荒沢 和子 氏 鶴岡市立上郷小学校 元校長 外崎 浩司 氏 青森県PTA連合会 元会長 全国の有識者 日本PTA全国協議会関係者
討議の視点	
1) 社会教育の更なる推進につながるPTA活動について 2) PTA活動の「裾野」をどのように広げていくかについて 3) 次世代につながる社会教育について	

第8分科会

環境・安全

研究課題

悩みに気づき、相談される関係性をつくる
～子供たちを見守るために必要なものとは～

現状と課題	提言者
新型コロナウイルス感染症の影響で、子供たちを取り巻く環境は、加速度的に変化しています。そしてその急激な環境変化の中で、子供たちの生命や暮らしを脅かす事件や事故を見聞きすることが多くなりました。 子供たちの命を守るためには、子供たちの現状への理解と、何より寄り添うことが必要です。まず子供を守るべきは保護者だと考えますが、保護者同士のつながりが希薄化し、相談する関係性の構築も難しくなっていることで、一人で悩みを抱え、守りたくても守れない状況に陥る保護者も増えてきています。子供たちのSOSの意思表示の一つが「不登校」だと考えますが、子供や保護者の悩みに気づき、寄り添う場が、学校や地域だと考えます。子供たちは「見守る」私達を信頼できる存在であるかどうかを見ているのではないのでしょうか。 この分科会では、子供たちから信頼され、相談される環境を考え、一人で悩むことで様々な危険に晒されている子供たちに対して「安心できる居場所」を創るためには、保護者・地域・学校、それぞれ何が必要であるのかを考えます。	●基調講演者 木村 泰子 氏 大阪市立大空小学校 初代校長 ●コーディネーター 安藤 耕己 氏 山形大学 地域教育文化学部 地域教育文化学科 教授 ●パネリスト 木村 泰子 氏 大阪市立大空小学校 初代校長 江川 和弥 氏 特定非営利活動法人寺子屋方丈舎理事長 特定非営利法人フリースクール全国ネットワーク 代表理事 多様な学びを実現する会 共同代表 松井 愛 氏 山形市 市議会議員 浅野 直美 氏 宮城県PTA連合会副会長
討議の視点	
1) 悩みを持った子供たちが、相談しやすい環境について 2) 悩みを持った保護者への支援や関わり方について 3) 不登校中の子供たちの「安心できる居場所」について	



特別第1分科会 日本PTA担当

研究課題

「令和の日本型学校教育」を支援するPTA活動
～持続可能な社会の担い手の育成を目指して～

現状と課題	提言者
「Society5.0」と新型コロナウイルスの感染拡大による先行き不透明な「予測困難な時代」が到来し、私たちを取り巻く社会は加速的に変化していき、社会的課題の解決と経済発展の両立を目指さなければなりません。 そのような中、一人一人の子供たちが、自分の良さや可能性と、他人の多様な生き方と個性を尊重し、お互いが協働しながら様々な変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手となることを願っています。 これまで、知・徳・体を一体で育む従来の「日本型学校教育」は諸外国から高い評価を得ており、全人的な発達・成長の保障、学習機会と学力の保障等の成果を上げてきました。しかし、子供たちは多様化(貧困、いじめ、不登校等)し、自制心や規範意識の希薄化、生活習慣の確立が不十分であるという課題もあります。そこで、これまでの成果を引き継ぎ、更なる全人的な発達・成長を保障するためにもPTAと地域が中心となった道徳性を育む実践活動や体制が必要と考えます。学校、保護者、地域という横のつながり、これまでの教育のよさを引き継ぐという縦のつながりを大切にし、「令和の日本型教育」を支援するため、特別第1分科会では、私たちPTAが果たすべき役割・必要性・存在意義について考えていきます。	●基調講演者 木村 貴志 氏 志の教育を創る Vision&Education, Ltd. 代表取締役社長 ●コーディネーター 三浦登志一 氏 山形大学大学院教育実践研究科 教授 ●パネリスト 木村 貴志 氏 志の教育を創る Vision&Education, Ltd. 代表取締役社長 白澤 仁 氏 岩手県滝沢市立滝沢第二小学校 PTA会長 後藤 好邦 氏 山形市役所企画調整部 企画調整課 課長補佐 誉田 憲孝 氏 福島県PTA連合会 元会長
討議の視点	
1) 変化し続ける社会の中、教師や保護者の役割について 2) 地域との連携・協働による多様化する子供たちとの関わり方について 3) 道徳性を育むための体制や実践活動について	

特別第2分科会 文部科学省協力

研究課題

メディア・リテラシー育成における学校教育と家庭教育の役割
～子供たちへのメディア・リテラシー教育を考える～

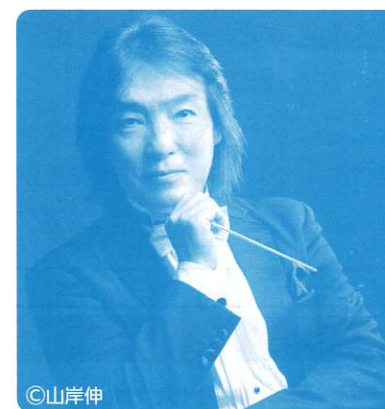
現状と課題	提言者
2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」で目指す学びの姿とは、指導の個別化と学習の個性化を行う「個別最適な学び」と、探究的な学習や体験活動等を通じ、子供たち同士あるいは多様な他者と協働し、人と人とのつながりを体感する中で学ぶ「協働的な学び」を一体的に充実することです。そのためにはICTの活用は不可欠です。 活用を促していく際には、必然的にメディア・リテラシー(情報活用能力)を子供たちに育成した上で進めていくことが大切になってきます。 特別第2分科会では、実際の教育現場でどのようにメディア・リテラシー(情報活用能力)が育成されているか、またこれからのICT環境整備の在り方や問題点を理解した上で、私たち保護者が果たすべき役割とは何なのかをパネルディスカッションを通して考えていきます。	●基調講演者 佐藤 和紀 氏 信州大学教育学部 准教授 ●コーディネーター 木村 智行 氏 山形県立南陽高等学校 前校長 ●パネリスト 佐藤 和紀 氏 信州大学教育学部 准教授 文部科学省関係者 佐藤 法子 氏 上山市小中学校長会 会長 原田 拓 氏 上山市PTA連合協議会 会長
討議の視点	
1) 現在の教育現場におけるメディア・リテラシー育成の実態について 2) これからの教育現場や家庭でのICT環境整備のあり方や問題点について 3) メディア・リテラシー教育の重要性について	



全体会記念講演・記念演奏会

【講師】飯森 範 親 氏

【演題】「一本のタクト」は、人のこころを豊かに幸せにするアイテム
ライブでしか味わえないお話と演奏をあなたに…



©山岸伸

●プロフィール

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。01年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、日本ツアーも成功に導いた。国内では94年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を歴任。06年度、芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞、07年より山形交響楽団音楽監督に就任、芸術総監督を経て、22年より同楽団桂冠指揮者。パシフィック フィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者。東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。23年4月より群馬交響楽団常任指揮者に就任予定。
オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

●講演について

オーケストラの中心であり司令塔である指揮者。曲に内在する感情を引き出すのが指揮者の仕事。日本の指揮者を代表する飯森範親氏は、真の指揮者とは「一本のタクト」により、オーケストラの演奏者一人ひとり、聴衆者の一人ひとりを見えない糸でつなぎ合い、紡いでいく。あらゆるものを超越した唯一無二の空間を作り出せる存在である。更には、真の演奏会とは会場にリアルで参加し、身もこころもそこに存在することなくしては実現しないと言い切る。

指揮者という仕事を通して、具現化してきた「人と人とのつながり」の大切さをお話から演奏へとのつながりから、全ての参加者に体感していただきたい。

【記念演奏会】

山形交響楽団 Yamagata Symphony Orchestra

1972年、東北初のプロ・オーケストラとして誕生。東京・大阪での「さくらんぼコンサート」など、年間150回に及ぶ多彩な演奏活動を展開。

2007年、飯森範親(2004年から常任指揮者・ミュージックアドバイザー)の音楽監督就任を機に、名実共に東北地方のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立。2008年には、アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。2017年「モーツァルト交響曲全集CD」を発売、第55回レコード・アカデミー賞(特別部門企画・制作)を受賞し全国的な話題となる。

2020年6月より、常任指揮者阪哲朗とともに「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」をスタート。全集DVD制作とインターネット配信を通じて、山響の新たな魅力を発信している。2022年、創立50周年を迎えた。

常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、
創立名誉指揮者 村川千秋、桂冠指揮者 飯森範親。

オフィシャル・ウェブサイト <https://www.yamakyo.or.jp>



会場のご案内

第1分科会

村山市民会館



〒995-0024
山形県村山市楯岡笛田2-6-1
TEL 0237-53-3111
FAX 0237-53-3532



第2分科会

酒田市民会館 希望ホール



〒998-0043
山形県酒田市本町2-2-10
TEL 0234-26-5450
FAX 0234-26-5452



第3分科会

新庄市民文化会館



〒996-0085
山形県新庄市堀端町4-67
TEL 0233-22-7029
FAX 0233-22-9615

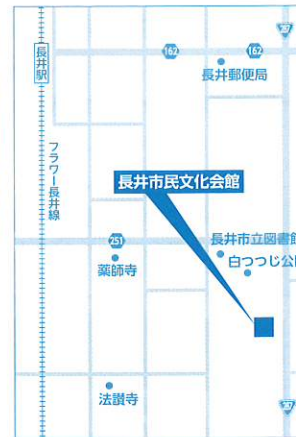


第4分科会

長井市民文化会館



〒993-0011
山形県長井市館町北5-10
TEL 0238-84-6051
FAX 0238-84-6050



第5分科会

高畠町文化ホール まほら



〒992-0351
山形県東置賜郡高畠町
大字高畠323
TEL 0238-52-4489
FAX 0238-52-4488



第6分科会

伝国の杜 置賜文化ホール



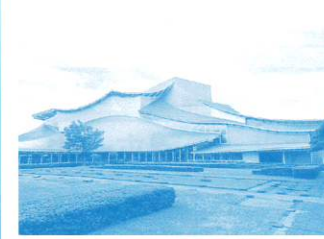
〒992-0052
山形県米沢市丸の内1-2-1
TEL 0238-26-2666
FAX 0238-26-2660



会場のご案内

第7分科会

鶴岡市文化会館 荘銀タクト鶴岡



〒997-0035
山形県鶴岡市馬場町11-61
TEL 0235-24-5188
FAX 0235-25-7611



第8分科会

寒河江市市民文化会館



〒991-0003
山形県寒河江市
西根石川西333
TEL 0237-86-5111
FAX 0237-86-2201



特別第1分科会

天童市市民文化会館



〒994-0013
山形県天童市老野森1-1-1
TEL 023-654-1511
FAX 023-654-1513



特別第2分科会

やまぎん県民ホール

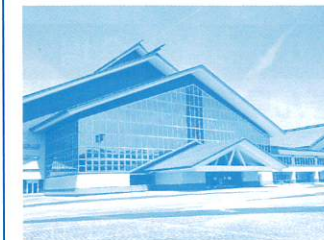


〒990-0828
山形県山形市双葉町1-2-38
TEL 023-664-2220
FAX 023-664-2209



全体会

山形市総合スポーツセンター



〒990-0075
山形県山形市落合町1
TEL 023-625-2288
FAX 023-625-2285



全体会

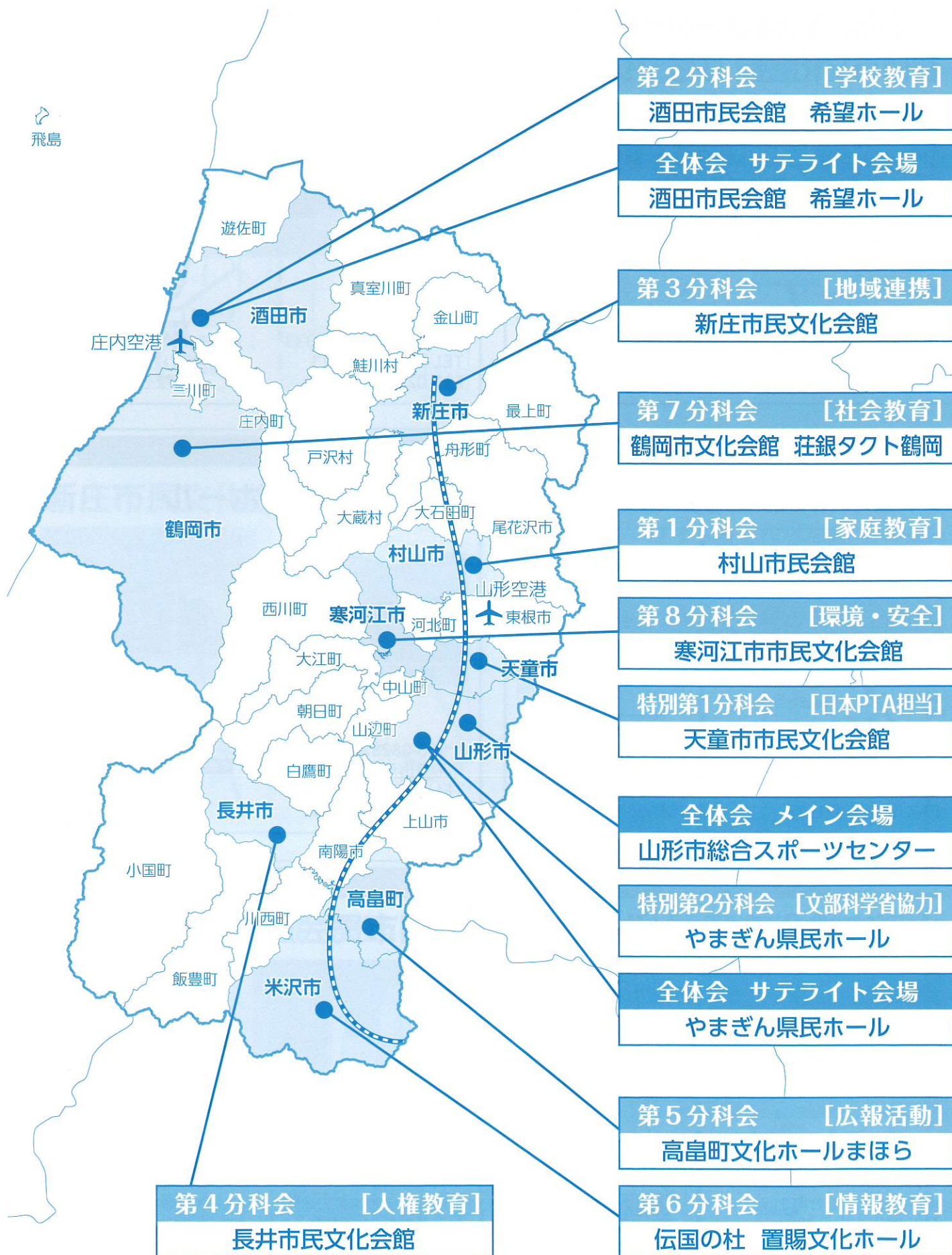
酒田市民会館 希望ホール



〒998-0043
山形県酒田市本町2-2-10
TEL 0234-26-5450
FAX 0234-26-5452



会場のご案内



分科会・全体会 会場アクセス

会 場	ア ク セ ス
第1分科会 (村山市)	村山市民会館 (村山市)
	JR 村山駅よりシャトルバスをご利用ください。約 5 分
	東北中央自動車道・村山本飯田 IC より車で約 15 分 東北中央自動車道・東根北 IC より車で約 15 分
第2分科会 全体会 (酒田市)	酒田市民会館 希望ホール (酒田市)
	JR 酒田駅よりシャトルバスをご利用ください。約 10 分 庄内空港よりシャトルバスをご利用ください。約 25 分
	日本海東北自動車道酒田中央 IC より車で約 10 分
第3分科会 (新庄市)	新庄市民文化会館 (新庄市)
	JR 新庄駅よりシャトルバスをご利用ください。約 10 分
	東北中央自動車道新庄 IC より車で約 10 分
第4分科会 (長井市)	長井市民文化会館 (長井市)
	JR 米沢駅よりシャトルバスをご利用ください。約 45 分
	東北中央自動車道南陽高畠 IC より車で約 25 分
第5分科会 (高畠町)	高畠町文化ホールまほら (高畠町)
	JR 米沢駅よりシャトルバスをご利用ください。約 30 分
	東北中央自動車道南陽高畠 IC より車で約 10 分
第6分科会 (米沢市)	伝国の杜 置賜文化ホール (米沢市)
	JR 米沢駅よりシャトルバスをご利用ください。約 20 分
	東北中央自動車道米沢中央 IC より車で約 15 分

分科会・全体会 会場アクセス

会 場	ア ク セ ス
第 7 分科会 (鶴岡市)	鶴岡市文化会館 荘銀タクト鶴岡 (鶴岡市)
	JR 鶴岡駅よりシャトルバスをご利用ください。約 15 分 庄内空港よりシャトルバスをご利用ください。約 30 分
第 8 分科会 (寒河江市)	寒河江市 市民文化会館 (寒河江市)
	JR 寒河江駅よりシャトルバスをご利用ください。約 10 分 山形自動車道寒河江スマート IC より車で約 10 分
特別第 1 分科会 (天童市)	天童市 市民文化会館 (天童市)
	JR 天童駅よりシャトルバスをご利用ください。約 5 分 山形空港よりシャトルバスをご利用ください。約 15 分
特別第 2 分科会 (山形市)	やまぎん 県民ホール (山形市)
	JR 山形駅より徒歩で 2 分 山形空港よりシャトルバスをご利用ください。約 50 分
全 体 会 (山形市)	山形市 総合スポーツ センター (山形市)
	山形駅周辺エリア、天童駅、寒河江駅 よりシャトルバスをご利用ください。 東北中央自動車道山形北 IC より車で約 10 分

シャトルバス運行のご案内

【分科会 8 月 26 日(金)】

会 場	シャトルバス運行計画		所要時間	片道料金	申込番号
第 1 分科会 村山市民会館 (村山市)	行き	JR 村山駅 → 会場 12 : 25 発 / 12 : 40 発	約 5 分	200 円	A1
	帰り	会場 → JR 村山駅 17 : 10 発			A2
第 2 分科会 酒田市民会館 希望ホール (酒田市)	行き	JR 酒田駅 → 会場 10 : 45 発 / 11 : 10 発	約 10 分	200 円	B1
	帰り	会場 → JR 酒田駅 16 : 45 発 / 17 : 15 発			B2
	帰り	会場 → JR 鶴岡駅 16 : 45 発 ※1	約 45 分	700 円	B3
	行き	庄内空港 → 会場 12 : 20 発 ※2	約 25 分	700 円	B4
第 3 分科会 新庄市民 文化会館 (新庄市)	行き	JR 新庄駅 → 会場 11 : 10 発	約 10 分	200 円	C1
	帰り	会場 → JR 新庄駅 17 : 20 発			C2
第 4 分科会 長井市民 文化会館 (長井市)	行き	JR 米沢駅 → 会場 11 : 45 発	約 45 分	800 円	D1
	帰り	会場 → JR 山形駅 17 : 15 発	約 60 分		D2
第 5 分科会 高畠町文化 ホールまほら (高畠町)	行き	JR 米沢駅 → 会場 12 : 20 発	約 30 分	600 円	E1
	帰り	会場 → JR 赤湯駅 17 : 15 発	約 20 分		E2

※1 山形行き路線バス「鶴岡エスモールバスターミナル 18:05 発」に接続可能です。(山交バス ¥2,600)
※2 会場到着が開会時刻を過ぎる予定をしております。ご注意ください。

シャトルバス運行のご案内

【分科会 8月26日(金)】

会 場	シャトルバス運行計画		所要時間	片道料金	申込番号
第6分科会 伝国の杜 置賜文化ホール (米沢市)	行き	JR米沢駅 → 会場 10:35 発 / 11:35 発 12:25 発	約20分	200円	※2 F1-1035 F1-1135 F1-1225
	帰り	会場 → JR米沢駅 17:10 発 / 17:50 発			F2
第7分科会 鶴岡市文化会館 荘銀タクト鶴岡 (鶴岡市)	行き	JR鶴岡駅 → 会場 10:25 発	約15分	200円	G1
	帰り	会場 → JR鶴岡駅 16:45 発 ※1			G2
	行き	庄内空港 → 会場 12:20 発 ※3	約30分	700円	G3
第8分科会 寒河江市 市民文化会館 (寒河江市)	行き	JR寒河江駅 → 会場 12:35 発	約10分	200円	H1
	帰り	会場 → JR寒河江駅 17:10 発			H2
特1分科会 天童市 市民文化会館 (天童市)	行き	JR天童駅 → 会場 12:15 発 / 12:35 発	約5分	200円	I1
	帰り	会場 → JR天童駅 17:15 発 / 17:30 発			I2
	行き	山形空港 → 会場 9:30 発 / 10:40 発 12:30 発	約15分	700円	※2 I3-0930 I3-1040 I3-1230
特2分科会 やまぎん 県民ホール (山形市)	行き	山形空港 → 会場 9:30 発 / 10:40 発 12:30 発 ※3	約50分	700円	※2 J1-0930 J1-1040 J1-1230

※1 山形行き路線バス「鶴岡エスモールバスターミナル 18:05 発」に接続可能です。(山交バス ¥2,600)

※2 末尾4桁の数字は各便の出発時間となっております。
時間をご確認の上お申し込みください。

※3 会場到着が開会時刻を過ぎる予定をしております。ご注意ください。

シャトルバス運行のご案内

【全体会 8月27日(土)】

会 場	シャトルバス運行計画		所要時間	片道料金	申込番号
山形市 総合スポーツ センター	⇄ 山形駅周辺エリア		約15分	200円	K1-01(山形駅東口) K1-02(国際ホテル前) K1-03(山形日町のシブシブ前) K1-04(ホテルキャッスル前) K1-05(山形駅西口) K2(山形駅)
	行き	7:30 ~ 8:45 ピストン運行			
	帰り	12:40 ~ 13:50 ピストン運行			
	⇄ 天童駅		約30分	200円	L1
	行き	8:15 発 / 8:20 発			
	⇄ 寒河江駅		約40分	200円	M1
	行き	8:10 発			
酒田市民会館 希望ホール	⇄ 酒田駅		約10分	200円	N1 N2
	行き	7:55 ~ 8:50 ピストン運行			
	帰り	12:40 ~ 13:35 ピストン運行			
	⇄ 鶴岡駅		約45分	700円	P1 P2
	行き	8:00 発			
	帰り	12:40 発			

※山形大会では、公共交通機関での移動が困難な会場（上記分科会場）へシャトルバスをご用意いたします。

※大会専用一般車両駐車場の十分な準備がございません。公共交通機関をご利用ください。

※参加証・宿泊確認書などと一緒にシャトルバスの乗車券を事前にお送りさせていただきますので、大会参加時にご持参ください。

※発着時間・所要時間については、交通事情、同一時刻の複数便運行等により前後する場合がございます。予めご了承ください。

※定期路線用または観光用の車両で運行いたします。(乗車人員が少ない場合、ジャンボタクシーで運行する事もございます。)

※シャトルバス乗車券の当日販売はございません。予めご了承ください。

※シャトルバス乗車場所や最終のご案内は乗車券をもってご連絡申し上げます。

※お申込みの少ないシャトルバスは運行を中止する場合があります。

宿泊のご案内

大会期間中の宿泊手配をご希望の場合は、下記リストよりお選びいただき申込書にご記入ください。

- 宿泊地区や料金区分、お部屋タイプ等、お申し込み状況や時期によってはご希望に添えない場合もございますので、予めご了承ください。
- 記載の料金は1泊お一人様あたりの販売価格です。消費税・サービス料を含みます。
- 全施設朝食付き。一部軽朝食及び朝夕付きがございます。詳しくは備考欄をご確認ください。
- 株式会社日本旅行東北が企画・実施する募集型企画旅行になります。(最少催行人員1名・添乗員は同行しません)
- ご宿泊のお申し込みは1泊よりお受けいたします。

地区	ホテル名	宿泊可能日	部屋タイプ	ご旅行代金 (1名あたり)	備 考	申込番号
山形市	ホテルメトロポリタン山形	25(木) 26(金)	シングル	12,700円		YM-01
	コンフォートホテル山形	25(木) 26(金)	シングル	8,800円		YM-02
	山形国際ホテル	25(木) 26(金) 27(土)	シングル	10,800円		YM-03
	ホテルキャッスル山形	25(木)	シングル	11,200円		YM-04
	ホテル・アルファワン山形	25(木) 26(金)	シングル	7,800円	朝：軽食 (弁当)	YM-05
	山形グランドホテル	25(木)	シングル	10,400円		YM-06
	山形七日町ワシントンホテル	25(木) 26(金)	シングル	10,700円		YM-07
	山形駅西口ワシントンホテル	25(木) 26(金)	シングル	9,800円		YM-08
	ダイワロイネットホテル山形駅前	25(木) 26(金)	シングル	12,000円		YM-09
	東横INN山形駅西口	25(木) 26(金)	シングル	7,200円	朝：軽食	YM-10
	リッチモンドホテル山形駅前	25(木) 26(金)	シングル	10,500円		YM-11
	ホテルクラウンヒルズ山形	26(金)	シングル	9,700円		YM-12
	ホテルステイン七日町	26(金)	シングル	11,600円		YM-13
	ホテルルートイン山形南	26(金)	シングル	9,300円		YM-14

宿泊のご案内

地区	ホテル名	宿泊可能日	部屋タイプ	ご旅行代金 (1名あたり)	備 考	申込番号
上山市	仙溪園 月岡ホテル	26(金)	和 室 4~5名利用1室	14,000円	1泊2食	KM-01
天童市	天童セントラルホテル	25(木) 26(金)	シングル	8,000円		TN-01
	ホテルビューくろだ	25(木) 26(金)	シングル	7,500円		TN-02
	ホテルパールシティ天童	25(木) 26(金)	シングル	8,700円		TN-03
	ビジネスホテル中央	25(木) 26(金)	シングル	8,000円		TN-04
寒河江市	ホテルサンチェリー	25(木) 26(金)	シングル	8,800円	朝：軽食 (弁当)	SG-01
	ホテルシンフォニアネックス	25(木) 26(金)	シングル	10,000円		SG-02
	ホテルシンフォニー	25(木) 26(金)	シングル	10,000円		SG-03
	チェリーパークホテル	25(木) 26(金)	シングル	8,500円		SG-04
村山市	村山西口ホテル	25(木) 26(金)	シングル	8,000円		MR-01
米沢市	ホテルベネックス米沢	25(木) 26(金)	シングル	9,500円		YN-01
	ホテルルートイン米沢駅東	26(金)	シングル	9,300円		YN-02
	東横INN米沢駅前	26(金)	シングル	7,800円	朝：軽食	YN-03
長井市	タスパークホテル	26(金)	シングル	10,200円		NG-01
南陽市	丹泉ホテル	26(金)	和 室 4~5名利用1室	14,000円	1泊2食	NY-01
高畠町	ホテルfolkロー口高畠	26(金)	シングル	8,700円		TK-01

宿泊のご案内

地区	ホテル名	宿泊可能日	部屋タイプ	ご旅行代金 (1名あたり)	備 考	申込番号
新庄市	ルートイン新庄駅前	26(金)	シングル	9,200円		SJ-01
酒田市	月のホテル	25(木) 26(金)	シングル	12,500円		SK-01
	さかたセントラルホテル	25(木) 26(金)	シングル	8,500円		SK-02
	ホテルリッチ&ガーデン酒田	25(木) 26(金)	シングル	11,000円		SK-03
	ホテルルートイン酒田	25(木) 26(金)	シングル	11,800円		SK-04
	ホテルイン酒田	25(木) 26(金)	シングル	8,500円		SK-05
鶴岡市	ホテルルートイン鶴岡駅前	25(木) 26(金)	シングル	11,800円		TR-01
	東京第一ホテル鶴岡	25(木) 26(金)	シングル	11,300円		TR-02
	ルートイン鶴岡インター	25(木) 26(金)	シングル	11,300円		TR-03
	ホテルイン鶴岡	25(木) 26(金)	シングル	8,700円		TR-04
	亀や	25(木) 26(金)	和 室 4~5名利用1室	16,200円	1泊2食	TR-05
	遊水亭 いさごや	25(木) 26(金)	和 室 4~5名利用1室	19,500円	1泊2食	TR-06
	竹屋ホテル	25(木) 26(金)	和 室 4~5名利用1室	12,000円	1泊2食	TR-07
	愉海亭みやじま	25(木) 26(金)	和 室 4~5名利用1室	15,000円	1泊2食	TR-08

オプションツアー

オプションツアーについて（日本旅行との募集型企画旅行契約となります）

日本旅行山形支店が旅行企画・実施する募集型企画旅行にてご案内させていただきます。

P23の旅行条件書（要約）をご確認の上、お申込みください。

利用予定バス会社 山交バス

山形コース		旅行代金（お一人様あたり）：5,000 円	申込番号	OP. A
コースポイント おくのほそ道に残る「閑さや岩にしみ入る蝉の声」の名句の舞台、山寺こと立石寺を訪れ、松尾芭蕉の世界へとご案内いたします。 その後、山形県の名産品が並び山形県観光物産会館・ぐっと山形を訪れます。山形のお土産品を是非お買い求めください。 募集人員：40 名 最少催行人員：30 名 食事：なし 旅行代金に含まれるもの：貸切バス（ガイド付き）、入場料 添乗員：同行しません。				
8月27日(土)	山形市総合スポーツセンター →→→ 山寺 →→→ ぐっと山形【お買い物】 →→→ 山形駅 13:00 13:30~15:00 15:45~16:25 16:45 ★東京行き 17:05 発			
山形・天童コース		旅行代金（お一人様あたり）：6,000 円	申込番号	OP. B
コースポイント 松尾芭蕉・おくのほそ道で有名な山寺こと立石寺を訪れた後、将棋の街へとご案内いたします。 将棋の駒生産量で全国の約9割を占める天童市。山形を訪れた記念にオリジナルの駒を作ってみるのはいかがでしょうか。最後は道の駅を訪問し、お買い物をお楽しみいただけます。 募集人員：40 名 最少催行人員：30 名 食事：なし 旅行代金に含まれるもの：貸切バス（ガイド付き）、入場料、体験料 添乗員：同行しません。				
8月27日(土)	山形市総合スポーツセンター →→→ 山寺 →→→ 将棋むら天童タワー【書き駒体験】 →→→ 13:00 13:30~14:30 15:00~15:50 →→→ 道の駅天童温泉 →→→ 山形駅 16:00~16:20 16:50 ★東京行き 17:05 発			
庄内コース		旅行代金（お一人様あたり）：5,000 円	申込番号	OP. C
コースポイント 出羽三山のひとつ羽黒山。朱塗りの随神門を通り抜けた先にある国宝の五重塔や樹齢1,000年を超える爺杉など、神秘的な世界へご案内いたします。 募集人員：40 名 最少催行人員：30 名 食事：なし 旅行代金に含まれるもの：貸切バス（ガイド付き） 添乗員：同行しません。				
8月27日(土)	山形市総合スポーツセンター →→→ 羽黒山 →→→ 庄内空港 12:30 14:20~16:10 17:00 ★羽田空港行き 17:45 発			
米沢コース		旅行代金（お一人様あたり）：5,500 円	申込番号	OP. D
コースポイント 戦国の名将・上杉謙信公を祀る上杉神社と東北最大級の酒蔵・東光を訪ねます。 上杉家の歴史と文化を展示する上杉博物館と米沢の名産品を取り揃える城史苑は神社の徒歩圏内にごございます。 東光の酒蔵では酒蔵見学と併せて、希少な東光銘柄のご試飲もお楽しみください。 募集人員：40 名 最少催行人員：30 名 食事：なし 旅行代金に含まれるもの：貸切バス（ガイド付き）、見学科 添乗員：同行しません。				
8月27日(土)	山形市総合スポーツセンター →→ 上杉神社（上杉博物館・城史苑） →→ 東光の酒蔵 →→→ 米沢駅 13:00 14:20~15:50 16:10~17:00 17:10 ★東京行き 17:41 発			

※お申込みは申込受付順とし、満員になり次第、メ切とさせていただきます。

※申込人員が最少催行人員に満たない場合は、旅行開始日の前日から遡って3日目にあたる日より前に旅行中止のご通知をいたします。

※当日の集合場所・時間につきましては、後日お送りする最終日程表にてご確認ください。

※上記行程は交通状況により、所要時間・発着時刻が変更になる場合がございます。接続の列車等公共交通機関のご予約をされる場合は、予め時間に余裕のある手配をお願いいたします。オプションツアーの交通機関の取消料等につきましては、当方では一切負担いたしませんのでご了承ください。

変更取消について

①お申込後の取消及び変更の依頼は、必ずEメールにて株式会社日本旅行東北山形支店「第70回日本PTA全国研究大会山形大会」係へご連絡ください。旅行開始日後の取消連絡は電話にて承ります。

②お申込後の取消につきましては下記の取消料を申し受けます。ご入金後のご返金につきましては、変更・取消の際に生じた変更・取消料を差し引いた額を、大会終了後に銀行振り込みにてご返金させていただきます。

※大会参加費については、大会規定により、ご入金後のご返金はいたしかねます。予めご了承ください。

【変更・取消料】(受付日は株式会社日本旅行東北 山形支店 営業時間内とさせていただきます)
(月～金 10:00～18:00)

・宿泊プラン (募集型企画旅行契約)

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。またこのプランにのみ適用となります。

	旅行取消後の解除 または無連絡不参加	当日	前日	2日前	3日前	4日前	5日前	6日前	7日前	8～20日前
1～14名	旅行代金の100%	旅行代金の50%	旅行代金の20%			無料				
15～30名	旅行代金の100%	旅行代金の50%	旅行代金の20%					無料		
31名以上	旅行代金の100%	旅行代金の50%	旅行代金の30%							旅行代金の10%

・オプションツアー (募集型企画旅行契約)

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。

契約解除の日			取消料 (お1人様)
旅行開始日の前日から 起算してさかのぼって	1. 11日目に当たる日以前の解除		無料
	2. 10日目に当たる日以降の解除 (3～6を除く)		旅行代金の20%
	3. 7日目に当たる日以降の解除 (4～6を除く)		旅行代金の30%

契約解除の日			取消料 (お1人様)
4. 旅行開始日の前日の解除			旅行代金の40%
5. 当日の解除 (6を除く)			旅行代金の50%
6. 旅行開始後の解除又は無連絡不参加			旅行代金の100%

個人情報の取扱いについて

- ①当社は今回の大会お申込の際に提出された申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡に利用させていただくほか、お客様がお申込みいただいた運送・宿泊機関等のサービス受領のための手続きに必要な範囲内でのみ利用させていただきます。あわせて大会運営に伴い、情報共有のため大会運営事務局に情報を提出し利用させていただきます。それ以外の目的で利用することはありません。
- ②個人情報の管理には当社個人情報保護方針に基づき適切な体制で臨んでおります。
- ③お申込書のEメール到着後の個人情報の管理には充分注意をしておりますが、Eメールを送信される際はくれぐれも誤送信等にご注意ください。

旅行条件 (要約)

【本旅行条件書は旅行業法第12条の4に定める取引条件の説明書及び同法12条の5に定める契約書面の一部となります。】詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しますので事前にご確認の上、お申込み下さい。

●募集型企画旅行契約

この旅行は株式会社日本旅行東北山形支店 (観光庁長官登録旅行業第1890号。以下「当社」といいます。) が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約 (以下「旅行契約」といいます。) を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途ご確認いただく旅行条件書 (全文)、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行案約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行のお申し込み及び契約成立時期

- (1) 所定の申込書に所定の事項を記入し、お申込みください。
- (2) 旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、申込金を受領したときに成立するものとします。但し、本契約につきましては、旅行代金のお振込が完了した時点で旅行契約が成立したものとします。但し、本契約に関しましては、旅行代金のお振込が完了した時点で、契約が成立したものとします。
- (3) 申込金は「旅行代金」「取消料」または「違約料」のそれぞれ一部または全部として扱います。
- (4) 団体、グループ (家族) の代表者を契約責任者として契約の締結及び解除に関する取引を行います。

●旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日から遡って21日目に当たる日より前 (お申込みが間際の場合は当社が指定する期日までに) にお支払いください。また、お客様が当社提携カード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いいただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様から申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

●取消料

お客様は、次の取消料をお支払いいただくことにより旅行契約を解除することができます。
取消日とは、お客様が当社の営業日、営業時間内に解除する旨お申し出いただいた日とします。

・宿泊プラン

	旅行取消後の解除 または無連絡不参加	当日	前日	2日前	3日前	4日前	5日前	6日前	7日前	8～20日前
1～14名	旅行代金の100%	旅行代金の50%	旅行代金の20%			無料				
15～30名	旅行代金の100%	旅行代金の50%	旅行代金の20%					無料		
31名以上	旅行代金の100%	旅行代金の50%	旅行代金の30%							旅行代金の10%

・オプションツアー及びシャトルバス

契約解除の日		取消料 (お1人様)
旅行開始日の前日から 起算してさかのぼって	1. 11日目に当たる日以前の解除	無料
	2. 10日目に当たる日以降の解除 (3～6を除く)	旅行代金の20%
	3. 7日目に当たる日以降の解除 (4～6を除く)	旅行代金の30%
	4. 旅行開始日の前日の解除	旅行代金の40%
	5. 当日の解除 (6を除く)	旅行代金の50%
	6. 旅行開始後の解約又は無連絡不参加	旅行代金の100%

●旅行代金に含まれるもの及び含まれないもの

旅行日程に明示した運送機関・料金 (注釈のないかぎりエコノミークラス)、宿泊費、食事代、コースに示した観光入場料及び消費税等諸税が含まれます。
(日程表に記載の方に交通費等の諸費用及び個人的費用は含まれません。)

●旅程管理

この旅行では約款に定める旅程管理は行いません。旅行サービスの提供を受けるために必要なクーポン券類をお渡しいたしますので、サービスの提供を受ける手続きはお客様自身で行っていただきます。

●特別補償

当社は、当社又は当社が手配を同行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急遽かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。
・死亡補償金: 1,500万円 ・入院見舞金: 2～20万円 ・通院見舞金: 1～5万円
・携行品損害補償金: お客様1名につき15万円 (但し、補償対象品1個あたり10万円を限度とします。)

●「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

当社提携クレジットカード会社のカード会員 (以下「会員」といいます。) より「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払いを受ける」こと (以下「通信契約」といいます。) を条件に申込を受けた場合、通常の旅行条件とは以下の点で異なります。 (受託旅行者により当該取扱ができない場合があります。また取扱できるカードの種類も受託旅行者により異なります。)

- (1) 契約成立は、当社が電話又は郵便で旅行契約の締結の承諾通知を発信したとき (E-mail等電子承諾通知を利用する場合は、その通知がお客様に到達したとき) とします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等を通知して頂きます。
- (2) 「カード利用日」とは旅行代金等の支払い又は払戻し債務を履行すべき日をいいます。旅行代金のカード利用日は「契約成立日」とします。 (但し、成立日が旅行開始前日から14日目に当たる日より前の場合は「14日前 (休業日にあたる場合は翌営業日)」とします。また取消料のカード利用日は「契約解除依頼日」とします。 (但し、契約解除依頼日が旅行代金のカード利用日以降であった場合は、当社は旅行代金から取消料を差し引いた額を解除依頼日の翌日から起算して7日間以内をカード利用日として扱い戻します。)
- (3) 与信等の理由により会員のお申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、当社が別途指定する期日までに現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

●事故等のお申し出について

旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに同行の添乗員・現地係員・運送・宿泊機関等旅行サービス提供機関、又は、お申込店にご通知ください。 (もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。)

●個人情報の取扱いについて

- (1) 株式会社日本旅行はご提供いただいた個人情報について、①お客様との間の連絡のため、②旅行に関して運送・宿泊機関等のサービス手配、提供のため、③旅行に関する諸手続のため、④当社の旅行契約上の責任において事故時の費用等を担保する保険手続のため、⑤当社及び当社と連携する企業の商品やサービス、キャンペーン情報の提供、旅行に関する情報提供のため、⑥旅行参加後のご意見やご感想のお願いのため、⑦アンケートのお願いのため、⑧特典サービス提供のため、⑨統計資料作成のため、に利用させていただきます。
- (2) 上記②、③の目的を達成するため、お客様の氏名、住所、電話番号、搭乗便名等を輸送・宿泊機関、土産物店に提供する事があります。なお、土産物店への個人情報の提供の停止をご希望される場合は、当該するパンフレットに記載する旅行申込窓口宛にご出発の10日前までにお申し出ください。
- (3) 当社及び当社グループ会社はお客様からご提供いただいた個人情報のうち、氏名、住所、電話番号、メールアドレス等の連絡先を、各社の営業案内、キャンペーン等のご案内のために、共同して利用させていただきます。共同利用する個人情報は、当社個人情報保護管理責任者が責任を持って管理します。なお、当社グループ会社の名称は当社のホームページ (<http://www.nta.co.jp/tohoku>) をご参照下さい。
- (4) 当社は個人情報の取扱を委託することがあります。
- (5) お客様は、当社の保有する個人データに対して開示、訂正、削除、利用停止の請求を行うことができます。問い合わせ窓口は訂正のみ販売店、それ以外はお客相談室でお受けいたします。
- (6) 一部の任意記入項目にご記入いただけない場合、未記入の項目に関連するサービスについては、適切にご提供できないことがあります。
個人情報保護管理者 (個人情報保護お客様相談窓口責任者)
問い合わせ窓口: 日本旅行東北お客相談室
電話: 022-266-0071 FAX: 022-264-3525 営業時間: 平日9:30～17:30 ・E-Mail: sodan_tohoku@nta.co.jp

●旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2022年4月1日を基準としております。また、旅行代金2022年4月1日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

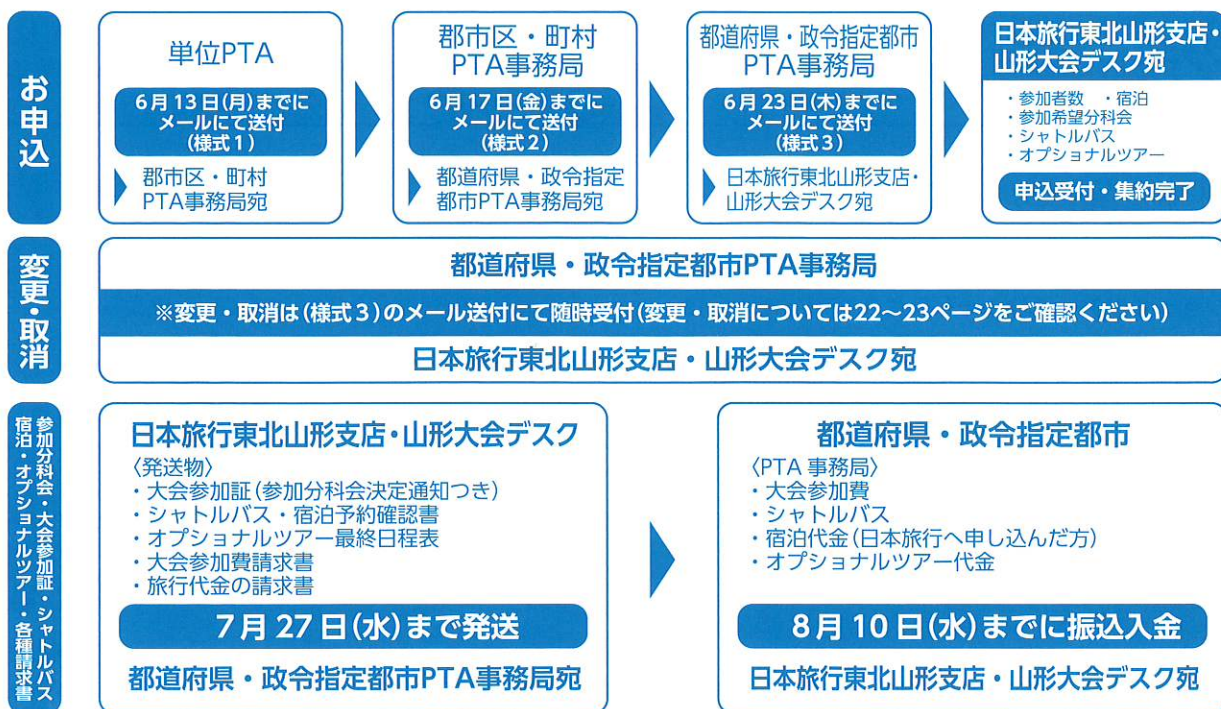
お客様の状況によっては、当初の手配内容に含まれていない特別な配慮、措置が必要になる可能性がございます。
特別な配慮や措置が必要となる可能性のある方は、ご相談させていただきますので、係員に必ずお申し出ください。

●国内旅行保険への加入について

旅行中において、けがをした場合、多額の治療費、移送費がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様ご自身で充分な額の国内旅行保険に加入されることをお勧めします。国内旅行保険については、お申込店の販売員にお問い合わせください。

申込方法について

●お申込方法・スケジュール



参加申込用紙様式のダウンロード、記入方法等の情報は山形大会ホームページをご覧ください。

振込口座

大会参加費 (@5,000円×申込人数) **旅行代金** (宿泊・シャトルバス・オプションツアー等)

[店名] きらやか銀行 山形駅前支店 [口座番号] 普通 1011009 [口座名義] 株式会社日本旅行東北山形支店 [口座名義ヨミ] カ) ニホンリョコウトウホクヤマガタシテン
※振込手数料は参加者の負担となります

分科会・全体会のお問合わせ先

第70回日本PTA全国研究大会 山形大会実行委員会事務局

〒990-2221 山形市大字風間字地藏山下2068
弘栄設備工業株式会社内

TEL 023-676-8693
FAX 023-676-8694

山形大会ホームページ

<https://yamagata-2022pta.com>



お申込み先・お問合わせ先

【旅行企画・実施】株式会社 日本旅行東北山形支店 【第70回日本PTA全国研究大会 山形大会】係宛

TEL 023-631-2295 FAX 023-631-2297 E-mail pta_yamagata70@nta.co.jp

大会デスク担当 鈴木宏之、芦野鈴佳、鈴木志穂那

〒990-0039 山形市香澄町2-2-36 山形センタービル1階

営業時間：月～金 10時00分～18時00分(土日祝は休業)

観光庁長官登録旅行業 第1890号(一社)日本旅行業協会正会員



ボンド保証会員
日本旅行業協会正会員



旅行業公正取引
協議会 会員

総合旅行業取扱管理者：鈴木宏之

旅行業取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う支店での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があればご連絡なく上記の総合旅行業取扱管理者にお尋ねください。